

# 北朝鮮による拉致被害者問題を考えよう



伊 勢 市

傍観者

中学一年生

私は小学生の時、イジメの現場に居合わせても、ただ見て見ぬふりをしていました。よく、

「イジメを見て見ぬふりをしている人もイジメているのと同じことだ。」

と言われますが、傍観者見て見ぬふりをしている人は、決してそんなつもりはないと思っていました。私もかつてはその一人でした。

小学生の時、同じクラスのAさんが、ばい菌だと言われてみんなから避けられていました。掃除の時間に、Aさんの机だけ運ばれていないので、運ぼうとするとクラスメイトにすごい目で見られたり、「ばい菌がつくから運ばない方がいい。」

と言われたりしました。それで、私はAさんの机が運ばれていないのを黙ってみているしか出来ませんでした。

これがイジメの怖さだと思えます。傍観者にならなければ自分もイジメられてしまうという思いから、傍観者がつくられてしまつたのです。私はさっき、「傍観者の人はイジメをしているつもりなど決してない。」と書きましたが、よくよく考えてみると「机を運ばない。」というイジメに、私も加わっていたということになります。もちろん私は、その時はそんなつもりはありませんでしたが、そう考えると、私はAさんを傷つけてしまっていたのです。イジメを見て見ぬふりをしているだけで、イジメに加わっている

という意味が、今やっとわかりました。

掃除の時間が終って、私が自分の掃除場所から教室に戻ってきたときに、もし私の机だけ運ばれていなかったら、とても辛く悲しいと思います。Aさんの気持ちを考えてあげられなかったことをとても悔やんでいます。

では、私はどうすればよかったのでしょうか。先生に言えばよかったのか、勇気を出して、「こんなのやめよう。」

と言っべきだったのか、黙ってAさんの机を運べばよかったのか、色々考えてみましたが分かりません。でも、ただイジメを見て見ぬふりをする傍観者から、一歩前に踏みだすべきだったと反省しています。

それでも、机を運んでいる人がいました。B君です。B君は人目を気にせず、Aさんの机を運んでいたのです。一見ただ掃除をしているように見えますが、B君はとても勇気がある人だと今になって思っています。B君はイジメの傍観者になりたくなかったのだしょう。

私は、これからもこんな思いは二度としたくありません。こんな後悔もしたくありません。だから、これからイジメの傍観者にならないようにするために、どうしたらいいのか自分なりに考えてみました。もしイジメの現場に遭遇してしまったときは、こっそり先生に知らせるか、私と同じような思いを持った友だちをできるだけ集めて、勇気を出して行動したいです。きっと私のように、イジメの傍観者になりたくない人はたくさんいるはずですから。

人権作文集「人権の芽」第7集より

伊勢市環境生活部  
人権政策課

〒516-8601 三重県伊勢市岩渕1丁目7番29号  
TEL (0596)-21-5546 / FAX (0596)-21-5642  
URL <http://www.city.ise.mie.jp>

表紙：平成24年度人権尊重啓発ポスター小学3年生の部 市長賞

再生紙を使用しています。



# 北朝鮮による拉致問題への取組

1970年代から1980年代にかけて、多くの日本人が不自然な形で姿を消しましたが、これらの事件の多くには、北朝鮮による拉致の疑いが持たれています。日本政府は、拉致問題を我が国の国家主権及び国民の生命と安全にかかわる重大な問題とし、次のような拉致問題に関する法律を整備し解決に向けて取り組んでいます。これまでに17名を北朝鮮による拉致被害者として認定していますが、さらにこの他にも拉致の可能性を排除できないケースがあります。

## 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律

(平成14年12月11日)

(目的)

第一条 この法律は、北朝鮮当局による未曾有の国家的犯罪行為によって拉致された被害者が、本邦に帰国することができずに北朝鮮に居住することを余儀なくされるとともに、本邦における生活基盤を失ったこと等その置かれている特殊な諸事情にかんがみ、被害者及び被害者の家族の支援に関する国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、帰国した被害者及び帰国し、又は入国した被害者の配偶者等の自立を促進し、被害者の拉致によって失われた生活基盤の再建等に資するため、拉致被害者等給付金の支給その他の必要な施策を講ずることを目的とする。

## 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律

(平成18年6月23日)

(目的)

第一条 この法律は、2005年12月16日の国際連合総会において採択された北朝鮮の人権状況に関する決議を踏まえ、我が国の喫緊の国民的な課題である拉致問題の解決をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題への対処が国際社会を挙げて取り組むべき課題であることにかんがみ、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を解明し、及びその抑止を図ることを目的とする。

## 北朝鮮による拉致被害者家族等の組織



1997年3月、国内で拉致問題が大きくクローズアップされる中、「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（家族会）」が結成され、救出活動を開始しました。また、その年の4月、超党派の議員により「北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（拉致議連）」が設立されました。その後、救出活動は、地方政界にも広がりを見せ、地方議会にも拉致議連が結成されました。そのほか、「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（救う会）」などがあります。

### 政府認定拉致被害者17名

久米 裕さん	1977年石川県宇出津海岸付近にて失踪
松本京子さん	1977年鳥取県の自宅近くの編み物教室に向かったまま失踪
横田めぐみさん	1977年新潟市において下校途中に失踪
田中 実さん	1978年欧州に向け出国した後失踪
田口八重子さん	1978年失踪、詳細は不明
地村保志さん	1978年福井県で「2人でデートに行く」と言って出かけて以来失踪
濱本富貴恵さん	1978年福井県で「2人でデートに行く」と言って出かけて以来失踪
蓮池 薫さん	1978年新潟県で「すぐ帰る」と言って外出したまま失踪
奥土祐木子さん	1978年新潟県で「すぐ帰る」と言って外出したまま失踪
市川修一さん	1978年鹿児島県で「浜に夕日を見に行く」と言って出かけたまま失踪
増元るみ子さん	1978年鹿児島県で「浜に夕日を見に行く」と言って出かけたまま失踪
曾我ミヨシさん	1978年新潟県で「2人で買い物に行く」と言って出かけて以来失踪
曾我ひとみさん	1978年新潟県で「2人で買い物に行く」と言って出かけて以来失踪
石岡 亨さん	1980年欧州滞在中に失踪
松木 薫さん	1980年欧州滞在中に失踪
原 救晁さん	1980年宮崎県内で失踪
有本恵子さん	1983年欧州にて失踪

2002年9月、日朝首脳会談の席で、北朝鮮側は、日本人13人を拉致したことを認めました。その後の交渉で、地村保志さん、地村(濱本)富貴恵さん、蓮池薫さん、蓮池(奥土)祐木子さん、曾我ひとみさんの5人は、その年の10月に帰国しました。

### 日本人以外の拉致被害者

韓国を始め、帰国した日本人拉致被害者などの証言から、タイ、ルーマニア、レバノンの国民で北朝鮮に拉致された可能性がある方々も存在していることが明らかになりました。また、北朝鮮から帰還した韓国人拉致被害者の証言では、中国人などの拉致被害者も存在するなど北朝鮮による拉致問題は、国際社会全体の人権問題となっています。